「ものわすれ外来」受診時ポイント紹介

介護者を支える会が交流集会

苫小牧市介護者を支える会（伊藤純子会長）は23日、市民活動センターで交流集会を開いた。会員ら約20人が参加し、苫小牧東病院の認知症看護認定看護師の村上香織さんから「ものわすれ外来」の受診時のポイントや楽しみながら脳を刺激する方法を学んだ。

村上さんは、同院で週2回、物忘れに関する受診日を設け、予約時に既往歴や生活の状況、受診のきっかけとなる出来事などを聞き取っていることを説明。来院時には本人の生活の様子が分かる家族なども同席してもらうことで、「その後の治療方針などをスムーズに決められる」と語った。

本人が嫌な気持ちにならずに来院できるような声掛けの具体例や、受診時に医師に伝えたほうがいい事柄なども紹介。脳を鍛えるゲームとして、難読漢字の読み方を考えたり、数字の順に点を線でつないで絵を描く「点つなぎ」に取り組んだりする時間も持たれた。（姉歯百合子）



脳を刺激するゲームを体験する参加者